

令和7年度 山元町立山下第二小学校教育グランドデザイン

「学校教育目標」

夢や志をもち 主体的に学び 心豊かで たくましく生きる児童の育成
 〈 やり通す子ども, まなび合う子ども, にこやかな子ども 〉

目指す学校像

- ①前向きに取り組む学校
 (常に挑戦し, 知恵を出し合う)
- ②ともに学び合う学校
 (児童一人一人を大切に考える)
- ③家庭や地域との連携を大切にする学校(CSとして地域と共に成長する)

目指す児童像

- やり通す子ども
- まなび合う子ども
- にこやかな子ども

目指す教師像

- ①学校課題を共有し, 理解して, 組織の一員として責任を果たす教師
- ②協働で学び合い, 指導力の向上を積極的に目指す教師
- ③思いやりをもって支え合い, 笑顔絶やさない教師

〔国, 県, 仙台教育事務所, 町教委教育方針〕
 〔児童の実態〕

・明るく真面目で挨拶は良好である。責任をもって最後まで取り組む。異学年で一緒に遊ぶ。学力が二極化している。自己肯定感や自信が高まりつつある。自分の考えを表現伝えることが少し苦手である。

〔教職員の願い〕

・基礎基本を定着させたい。学ぶ楽しさ, 地域を愛する気持ちを育てたい。表現意欲を付けさせたい。自分の命を自分で守る子どもに育てたい。

学校経営方針

- ①夢や志をもち, 「確かな学力・豊かな心・たくましい体」を育成する
- ②保護者・地域と連携・協力し, 「開かれた学校づくり」を進める
- ③「チーム山二小」として, 創意と活力に満ちた学校を目指す

〔地域・保護者の実態と願い〕

・学校にたいへん協力的で教育に対して熱心である。「地域の学校」としての役割を期待している。震災から14年が経過した。

・学力・体力をしっかりとつけてほしい。自分の命を自分で守る子どもになってほしい。地域・自然・社会に進んで関わる子どもになってほしい。将来の夢や志をもって進んでほしい。地域の未来を見つめ, 地域の創造的復興に貢献できる力を付けてほしい。



【 重点努力事項と具体的取組 <「命」と「未来」を大切にする児童の育成> 】

(学校経営方針の達成を目指すため, 6つのプロジェクトを設定し, 成果と課題を検証しながら取り組む)

- ① 「確かな学力」育みプロジェクト
 - 主体的・対話的で深い学びの実践に取り組む。
 - 学習の個性化・指導の個別化に取り組み, 児童一人一人が主人公となる授業づくりを行う。
- ② 「非認知能力」育みプロジェクト
 - 取組毎に「めあて」を設定し, 「振り返り」を行わせる。
 - 失敗を恐れず「挑戦」し, 「自己実現」を感じて成長する児童を育成する。
- ③ 「健康とたくましさ」育みプロジェクト
 - すべての生活の基礎となる「心」と「身体」の成長を支え, 育てる。
 - 「いじめ」や「不登校」の未然防止に取り組む。
- ④ 「地域と共に歩む学校」づくりプロジェクト
 - 学校運営協議会が中心となり, コミュニティスクールとして「山二小」を成長させる。
 - 保護者との連携を緊密にし, 的確な情報発信に努める。
- ⑤ 「安全・安心な学校」づくりプロジェクト
 - 東日本大震災の被災地に勤める者として, 「想い」を伝え, 繋ぎ, 動く児童を育成する。
 - 危機管理意識の向上と体制の充実に努め, 児童の「命」と「未来」を守る。
- ⑥ 「特別支援教育」充実プロジェクト
 - 6年間を見通し, 児童一人一人の自立に向けた主体的な取組を支援する。
 - 実態の把握に努め, 全教職員共通認識での指導に当たる。

児童が「通いたい学校」, 保護者が「学ばせたい学校」と思い,
 地域から「求められる学校」を目指す。